

※この事業は、「長野県森林づくり県民税」を活用しています。



令和4年度 長野県木育推進事業

長野県児童・生徒 木工工作コンクール 事業報告書

～WOOD CHANGE～



- 主催:長野県木材青壮年団体連合会
- 共催:長野県/中部森林管理局/長野県緑の基金/長野県県産材振興対策協議会/長野県木材協同組合連合会
- 後援:長野県教育委員会/長野県建築住宅センター/長野県森林組合連合会/NHK長野放送局/SBC信越放送/NBS長野放送/TSBテレビ信州/
abn長野朝日放送/長野エフエム放送/新建新聞社/長野県民新聞社

長野県木青連事務局（県木連内）

〒380-8567 長野市岡田町30-16
TEL:026-226-1471 FAX:026-228-0580

メール: n-msr@siren.ocn.ne.jp
WEB: <http://n-msr.com/>

もくせいいん

検索

第45回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業概要

※この事業は、「長野県森林づくり県民税」を活用しています。

【趣 旨】 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にする心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

【主 催】 長野県木材青壮年団体連合会

【共 催】 長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県木材協同組合連合会、長野県県産材振興対策協議会

【後 援】 長野県教育委員会、(一財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、a b n長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

【対 象 者】 長野県下の小学校、中学校、特別支援学校(級)の児童生徒の皆さん

- 【応募基準】**
- テーマ
自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること)
 - 大きさ
タテ・ヨコ・高さ それぞれ55cm以下とする。
 - 締切り
令和4年 9月16日(金)
 - 送り先
最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

【事業日程】

| 年月日 | 場 所 | 内 容 |
|------------|------|--|
| 令和4年7月上旬 | 県下全域 | 長野県下の全学校長宛に案内送付 各関係機関へ依頼書送付 |
| 7月～9月 | 県下全域 | 木工作品製作(学校又は夏休み期間中) 各材料の提供配布は地元会員が手配 |
| 9月16日 | 県下全域 | 作品応募締め切り(作品の回収) |
| 9月17日～ | 県下全域 | 各地区審査会を実施 |
| 10月7日 | 塩尻市 | 長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会 |
| 10月24日～28日 | 長野市 | 最優秀賞(県知事賞)等10作品を長野県庁1階ロビーにて展示 |
| 11月26日 | 長野市 | 長野市 長野県立美術館 B1階 ホールにて表彰式 |
| 令和5年1月10日 | 全 国 | 全国児童生徒木工工作コンクール 一次審査 |
| 3月5日 | 全 国 | 全国児童生徒木工工作コンクール 最終審査 |
| 6月5日 | 北海道 | 全国児童生徒木工工作コンクール表彰式 |

【審査基準】 各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。
また、小学校低学年(1～4年)、小学校高学年(5～6年)、中学校、特別支援学校(級)の以上4部門に分けて審査を行なった。
・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
・木の持味を生かし独創性に優れていること。
・機能、デザインが優秀であること。
・工作技術が優秀であること。

【審査会】 令和4年10月7日(金) 塩尻市 長野県林業総合センター(大研修室)

【審査委員】 審査委員長 長野県総合教育センター
 専門主事 春日 俊宏 様
 審査委員 長野県林務部 信州の木活用課
 県産材利用推進室
 担当係長 伊藤 武 様
 林野庁中部森林管理局 資源活用課
 企画官 芳沢 真一 様
 (公財)長野県緑の基金
 常務理事兼事務局長 河西 光章 様
 長野県木材協同組合連合会
 理事長 宮崎 正毅 様
 長野県県産材振興対策協議会
 会長 宮崎 正毅 様
 長野県木材青壮年団体連合会
 会長 田村 紘一 君
 長野県木材青壮年団体連合会
 直前会長 大藏 俊介 君
 長野県木材青壮年団体連合会
 会長代行副会長 宮崎 淳貴 君
 長野県木材青壮年団体連合会
 副会長 由井 正宏 君
 計9名



【審査風景】 令和4年10月7日(金) 塩尻市 長野県林業総合センター (大研修室)



【展示風景】 令和4年10月24日(月)～28日(金) 長野県庁1階ロビー



【表彰式】 令和4年11月26日(日) 長野市 長野県立美術館 B1階 ホール



第45回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞作品一覧

1. 最優秀賞（長野県知事賞）

| 作品名 | 氏名 | 学校名 | 学年 |
|-------------|---------|-----------------|----|
| 華灯 | 等々力 蒼 乃 | 信州大学教育学部附属松本小学校 | 4年 |
| 流木ツリーハウス ※1 | 小 島 柊 哉 | 辰野町立辰野東小学校 | 6年 |
| ウッドバーニング | 菊 池 桜 介 | 原村立原中学校 | 2年 |
| 春の山小屋 | 降 旗 諒 介 | 大町市立大町東小学校 | 3年 |

※1 全国児童・生徒木工工作コンクール「日本木青連会長賞」受賞

2. 長野県教育委員会賞

| 作品名 | 氏名 | 学校名 | 学年 |
|---------------------|---------|------------|----|
| 「サンリッチオレンジ」～流木の生け花～ | 北 原 彩 葉 | 南箕輪村立南部小学校 | 5年 |

3. 林野庁中部森林管理局長賞

| 作品名 | 氏名 | 学校名 | 学年 |
|----------------|---------|-----------|----|
| リアルリュウボク カブトムシ | 宮 嶋 朔 杜 | 茅野市立金沢小学校 | 3年 |

4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

| 作品名 | 氏名 | 学校名 | 学年 |
|--------------------|---------|-----------|----|
| SDGs～いまぼくたちにできること～ | 吉 田 陽 翔 | 茅野市立米沢小学校 | 4年 |

5. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

| 作品名 | 氏名 | 学校名 | 学年 |
|-----|---------|-------------|----|
| 龍 | 置 田 彩 華 | 南木曾町立南木曾小学校 | 3年 |

6. 長野県県産材振興対策協議会 会長賞

| 作品名 | 氏名 | 学校名 | 学年 |
|------|---------|-----------|----|
| 伊勢海老 | 矢 崎 琉 冬 | 茅野市立米沢小学校 | 5年 |

7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

| 作品名 | 氏名 | 学校名 | 学年 |
|------------|---------|--------------|----|
| 浅間山サイドテーブル | 浅 井 太 鷗 | 御代田町立御代田北小学校 | 6年 |

8. 優秀賞

| 作品名 | 氏名 | 学校名 | 学年 |
|-----------|---------|--------------|----|
| たまごを見守る親鳥 | 山 口 泰 生 | 上田市立神川小学校 | 4年 |
| がんばれ佐久鯉 | 小 林 隼 翔 | 佐久市立岸野小学校 | 4年 |
| 動くシャチ | 依 田 伊 織 | 佐久市立望月小学校 | 6年 |
| 夏の思い出 | 服 部 一 輝 | 大町市立大町北小学校 | 6年 |
| まな板の上のこい | 猪 股 怜 司 | 諏訪市立城南小学校 | 5年 |
| 四つの柱と幣拝殿 | 大 村 耀 介 | 下諏訪町立下諏訪北小学校 | 6年 |
| 思い出いっぱい宝箱 | 山 崎 暖 叶 | 伊那市立美篤小学校 | 3年 |
| ひまわり | 原 此 のみ | 南木曾町立南木曾小学校 | 1年 |
| 昇り龍 | 加 藤 新 大 | 南木曾町立南木曾小学校 | 6年 |
| 天空の龍 | 古 田 斗 喜 | 南木曾町立南木曾小学校 | 6年 |

■第45回長野県児童生徒木工工作コンクール内訳

| 総参加人数 | | 4,019 名 |
|-------|-----------|---------|
| 参加学校 | 小学校 | 114 校 |
| | 中学校 | 1 校 |
| | 特別支援学校（級） | 1 校 |
| | 合計 | 116 校 |

| 審査会出品数 | | 56 点 |
|---------------|------|---------|
| 入選（入賞リスト 1～7） | 優秀賞 | 10 点 |
| | 佳作 | 10 点 |
| | 努力賞 | 439 点 |
| | 総作品数 | 3,558 点 |
| 総作品数 | | 4,017 点 |

受賞作品

最優秀賞(長野県知事賞)

華灯

信州大学教育学部附属松本小学校 4年 等々力 蒼 乃

●作品を創ってみての感想

去年、初めてかんなくずで作品を作って、かんなくずが光を通すと、とてもきれいだったので温かいふんい気になるように、ランプを作りました。

花を作るのが大変でしたが、丸くすることで、優しい感じに仕上がって良かったです。

●一番見てほしいポイントは

一つひとつの花の形や、ちょうちょが集まってきて、華やかになっている所です。

●苦労した点は

ひとつづつ長さをはかって、同じ大きさの花になるようにしたところです。

かんなくずは、手にくっついてさけてしまうので、ていねいに作るようにしました。



●木に触れてどうでしたか

すぎやひのきのかんなくずを使ったので、とても良い匂いがしました。

かんなくずは、あんだり、まるくすることで、さげにくくなったので、まだまだ色々なものが作れそうだなと思いました。

最優秀賞(長野県知事賞)

※全国児童・生徒木工工作コンクール「日本木青連会長賞」受賞

流木ツリーハウス

辰野町立辰野東小学校 6年 小島 柊 哉

●作品を創ってみての感想

木工が大好きで、自分が住んでみたいツリーハウスを作ることになりました。

大変なことが、たくさんあって時間がかかったけど、そのかいがあって自分が満足できる作品が作れました。

最初の想像とは違ってたけど、ぐう然見つけた流木の形を生かした作品を作ることができました。

●一番見てほしいポイントは

全体的なデザインと、3つの家の扉があくところや、はしごやブランコなどの小物です。

こんな家に住んだら楽しいなと想像して見てもらいたいです。

家の中に息を吹きかけると、たき木に火が付く仕掛けを作り、それがお気に入りです。

●苦労した点は

暑い中、天竜川で流木を集めたことです。

完成したツリーハウスを予想しながら、流木を集めました。なかなか思った通りの形の流木が落ちていないので苦労しました。



●木に触れてどうでしたか

加工された木の形ではなく、自然の木を使って作りたいと思い、木を探しました。

拾った木は腐っていたり、すぐ折れてしまったりして、物を作るのに使える木は限られていると思いました。

最優秀賞(長野県知事賞)

ウッドバーニング

原村立原中学校 2年 菊池 桜介

●作品を創ってみての感想

ウッドバーニングに興味があり、一度作品に挑戦してみたいと思いやってみました。いがいと難しく硬い木材だとうまく焼けず、柔らかい木材だと焼けすぎてしまい木材選びから大変でした。

いざ、作品にとりかかると、絵の濃淡をつけるのが難しいと思いました。

●一番見てほしいポイントは

鯉と桜の配置とグラデーションです。桜に鯉が少しかぶるなどの工夫をし、鯉がより目立つようにしました。

●苦労した点は

グラデーションです。一度濃く焼いてしまったらとりかえしがつかなくなるので苦労しました。

焼く時間、押し付け方でグラデーションがかなり変わってくるのでそこも苦労しました。



●木に触れてどうでしたか

木は切ったり、削ったりするだけではなく、焼くことによっても作品になることもわかり、木への魅力を感じました。

最優秀賞(長野県知事賞)

春の山小屋

大町市立大町東小学校 3年 降 簾 諒 介

●作品を創ってみての感想

ぼくは、夏休み前から、どんな作品にしようかと考えてきました。夏休みに、その計画を実行しました。どうしても作りたかったのは、山小屋です。

なぜかという、自分の山小屋が欲しかったからです。山小屋のまわりで木を切ったりブランコに乗ったりしたかったからです。なので、ぼくのりそうの山小屋になりました。

●一番見てほしいポイントは

小屋と庭です。小屋は夏休みに細いぼうを糸ノコを使って切りました。自分で切ってみました。それらを組み合わせてポンドではりました。すぐかたまらなかったので、大変でした。

また、山小屋のドアを開けられるようにしました。自分が入れるような気がして、ワクワクしました。ドア作りにも苦労したので、ぜひ見て欲しいです。

庭は、春をイメージして、緑のスポンジをはりました。春らしくなって気に入っています。

●苦労した点は

ブランコを作る時に、電動糸ノコを使いました。小さな丸太を二つに切るのが難しく、先生に教えてもらいました。うまく切れた時は、うれしかったです。



●木に触れてどうでしたか

山小屋の庭に使った木は、校舎のまわりからひろってきました。それらを切って作りました。木は表面はガラガラしていたけれど、切り口はツルツルになりました。これらを使って作品を作ると、わくわくしました。

長野県教育委員会賞

「サンリッチオレンジ」～流木の生け花～

南箕輪村立南部小学校 5年 北原 彩葉

●作品を創ってみての感想

ふだん生花をして時期が来ると花は枯れてしまいます。なので枯れない花を木で作りたいと思いました。どのようにひまわりの花びらを作るか考え、色々試して庭に咲いたひまわりに近い花になりました。大変でしたが、とても楽しかったです。

●一番見てほしいポイントは

花びら一枚一枚消り、木の皮と合わせてひまわりを表現できた所です。

●苦労した点は

流木は自然のもので木の曲がりや形をどのように組み合わせ表現するかが大変でした。



●木に触れてどうでしたか

自然の木を使って何かを作る事はとても、大変でしたがこの工作が思い出と共に残るという事はとてもうれしいです。

林野庁中部森林管理局長賞

リアルリュウボク カブトムシ

茅野市立金沢小学校 3年 宮嶋 朔杜

●作品を創ってみての感想

夏休みに、おじいちゃんたちと山に遊びに行ったとき、川の近くで流木を見つけました。いつも見る木とちがって面白い形がたくさんあったので、この木を使って大好きなカブトムシを作ることになりました。かっていたカブトムシを見ながらおじいちゃんといっしょに作りました。賞がもらえてうれしかったです。来年もとくべつな賞をとりたいです。

●一番見てほしいポイントは

羽が開くところと、かっこいいツノを見てほしいです。

●苦労した点は

流木の中からツノや足などちょうどよい形を探すことが大へんでした。また、動く羽の部分も苦労しました。



●木に触れてどうでしたか

流木だけで生き物の形を表げんすることは大へんだったけど、川の流れてできたいろいろな形の中から、ほしい形を探すのは宝探しのように楽しかったです。

公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞
SDGs～いまぼくたちにできること～

茅野市立米沢小学校 4年 吉田 陽 翔

●作品を創ってみての感想

SDGsの勉強をして、それを木工で創ってみたいかった。

17個のロゴを立体にしてデザインするのが楽しかったです。

今、ぼくたちができることを木工作品で表現しました。

毎年夏休みに木工作品を作っていました、初めて大きな賞をもらえて、とてもうれしかったです。

●一番見てほしいポイントは

SDGsの15番の「陸の豊かさを守ろう」をテーマにして、材料をかんばつ材と建築端材を使用して、環境にやさしい木工作品にしました。

15番のロゴのデザインを一番大きく表現したところを見てほしいです。

●苦労した点は

家族のみんなで、近くの山に材料を集めに行った所と、木をノコギリで切ったり、ドリルで穴をあけるのが大変でした。

松ぼっくりで木を表現するのが苦労しました。



●木に触れてどうでしたか

切った木は最初はガラガラしていたけど、やすりでけずったらすべすべになって、気持ちよかったです。

木の種類によって、触れたかんじが全部ちがって楽しかったです。

長野県木材協同組合連合会 理事長賞
龍

南木曾町立南木曾小学校 3年 置田 彩華

●作品を創ってみての感想

私は、すわの龍神様という本を読んで、木で龍を作りたいと思いました。

私の作った龍は青空を泳いでいる龍です。泳いでいる所を、さいげんするには、思っていたよりも、むずかしかったです。

龍ができた時は、すごくうれしかったです。

来年は、いのししを作りたいです。

●一番見てほしいポイントは

龍の頭についている角や、ひげをさいげんするのが、むずかしかったので、一番見てほしいです。

角や、ひげを作った木は、うめの木を使いました。

頭は木のえだ分かれしているところを使いました。

ひげは、たくさんあるえだの中からえらぶのが大へんでした。

●苦労した点は

せびれを一本一本ととのえて、つけるのが大へんでした。

丸まった木くずを使ったので、ほどくのが大へんでした。



●木に触れてどうでしたか

檜の木くずは、いいにおいがしました。

うめの木は、かわがあつみがありました。

木のしゅるいによって、さわりごこちがまったくちがってふしぎに思いました。

伊勢海老

茅野市立米沢小学校 5年 矢崎 琉冬

●作品を創ってみての感想

夏休みに、イセエビを食べておいしかったし、かっこ良かったので、つくりたくなりました。つくってみたら、ふくざつだったので、大変でした。ぼくは、海の生き物が大好きで去年は、タイをつくり、今年はイセエビをつくりました。

●一番見てほしいポイントは

ヒゲです。曲げるのに水でぬらしたり、足でふんだりして、上り曲がったヒゲを再現しました。

●苦労した点は

部位にあった材料を山にさがしに行ったところと、ヒゲと足をさしこむ穴の大きさの調整をしたところです。



●木に触れてどうでしたか

木の種類によって、かたさや、においがちがって折れやすい木や曲げやすい木があっっておもしろかったです。

浅間山サイドテーブル

御代田町立御代田北小学校 6年 浅井 太鷗

●作品を創ってみての感想

木で生活に役立つ物、便利なものをずっと作ってみたいとサイドテーブルを作ることにしました。大切に長く使えるものが、できたのでとてもよかったです。次に家具を作るときは、ねじれないように作りたいです。また、ちがう種類の木を使ってみたいです。

●一番見てほしいポイントは

黒たんの木で作った浅間山です。3Dマップで上からや裏側からの、浅間山を見ながら一彫りずつついでに彫りました。

●苦労した点は

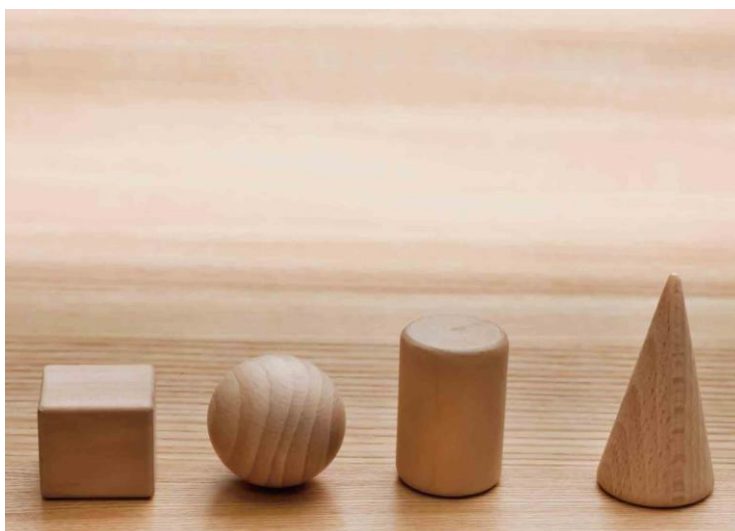
テーブルのあしは、きれいに見えるようにダボつぎに挑戦しました。でも出来上がったあしが少しねじれてしまったのでくやしかったです。



●木に触れてどうでしたか

いろいろな種類の木を使ってみたかったので、3種類の木で作りました。(けやき、黒たん、ブビンガ)木によって固さや木目やにおいがちがうので、とても面白い発見が出来ました。

触れて、創って、知る ウッドコレクション



長野県木材青壮年団体連合会

〒380-8567 長野市岡田町30-16

メール: info@n-msr.com

TEL: 026-226-1471 FAX: 026-228-0580

WEB: <https://n-msr.com/>